

M. S. 英語英文学科・3年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

中学生の頃から韓国に興味があり、いつか留学したい！という漠然とした夢がありました。大学生になって、それがついに叶うと思いきわくわくしていました。そして2年生に進級した頃から本格的に留学について考え始めました。2年生になってからは、こまめに留学の冊子を見たり、国際課に立ち寄って情報を入手したりして留学している様子をイメージしていました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で本当に留学できるのか、留学が決まってからも中止にならないか、入国の直前までずっと不安でした。

② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

2年生になってから、留学に行く条件であるハングル能力検定3級の勉強を始めました。3級は私自身が身構えていたよりも難しくなかったため、2年生に進級してから勉強し始めても十分に取れるレベルだとは思っています。しかし、私の場合、ハングルは1年生の頃に読めていたので、そのぐらいのレベルまでは1年生の頃に勉強していて損はないかと思っています。第二外国語で初級韓国語を取っていましたが、3級を受ける方にとっては、少し易しい授業だったので、自主学習でもう少しレベルの高い勉強をしていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学が決まってからは、とにかく英語よりも韓国語を中心に勉強していました。しかし、正直、語学勉強はそこまで必死にやっていたわけではなく、日常で必要そうだなと思うフレーズに聞き慣れる練習をしていました。ビザに関しては、私は下宿をしていたこと、通学する必要があったので、ビザ代行を頼みました。留学が決まると、国際課の方が紹介して下さるビザ代行の会社にお任せしました。大阪にある大韓民国総領事館までの交通費が代行費に近い金額だったので、頼んで良かったと感じました。レターパックに必要事項を記入し、代行会社に送るとあとは、代行会社の方がして下さるので、その間に留学に必要な日用品や薬を買う等の準備をしていました。

④ 現地到着後

現地到着後、私たちは、新型コロナウイルス感染症の検疫などを通る必要がありました。入国目的を聞かれ、現地の知り合いの連絡先に検疫の方が電話をするというシステムでしたが、現地に知り合いはいなかったため協定大学先の先生の連絡先を伝えました。全ての手続きが終わり、出口に向かうと男性のドライバーが、一人ずつ私たちをバンに乗せてくださり、1時間半ほど車で隔離先の寮まで移動しました。そこからは5日間が隔離期間でした。隔離の最初と終わりに保健所までPCR検査を受けに行きました。その間の食事は毎食玄関に置いてくださるコンビニのお弁当やサンドイッチでした。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

私たちは韓国では語学堂と呼ばれる語学学校に通っていました。私が通っていた誠信女子大学は語学堂も併設されていたので、学校に通いながら同じ場所で語学学校にも通えました。大学によっては語学堂を実施していない所もあるので、私と一緒に勉強していた外国人留学生の中には他大学に通いながら、誠信女子大学の語学堂に通っている学生もいました。教室はキャンパス内に語学堂用に使われる教室がいくつかあり、ロッカーなどもありました。普段から講義室として使われている部屋も語学堂の教室として使われており、大学の授業を受けている時とほとんど変わらない環境でした。

◆ 授業内容、課題、試験

授業内容はソウル大学の韓国語の教材を使って、韓国人の先生が授業をしてくださいます。高校や中学校の時のような授業のイメージです。先生方も主婦が多く優しいので身構える必要は全くありませんでした。高級クラスになってくると少し内容が社会問題を扱うなどの難しくなりますが、先生方は本当に分かりやすく私たちが理解できるように教えてくださいました。課題は教材のワークブックから、その日学んだことの練習問題がほとんどでした。後は2週間に1回ほどの小テスト前に発表内容を考えることぐらいです。試験も教材そのままか教材を少しいじった問題が出るので修了できないかもしれないと不安に考えすぎる必要はありません。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学はとても綺麗です。少し急な坂を登っていく必要がありますが、キャンパス内にコンビニやカフェ、食堂があるので休憩スペースは充実していると思います。特にスハルというカフェのキムパプがとても美味しく毎日私は食べていました。図書館は大きく、専用アプリで予約をすれば個室で勉強ができます。基本勉強スペースはブースで仕切りがあるので集中できる環境が整っています。さらに仮眠スペースまであるので授業の合間に昼寝をして休むこともできるので、充実した学校生活を送ることができます。

◆ 履修科目

私は英文学科なので英語も両立して学びたく、基本的に正規授業はできるだけネイティブの先生の授業を履修しようと決めていました。しかし、私の時はネイティブの先生が一人しかおられなかったため、授業数はあまり多くはないです。

1 学期

・スピーチ&プレゼンテーション

英語圏のネイティブ先生の授業です。英語でプレゼンするための学習です。英語力だけでなく全てのプレゼンに通用するテクニックや話し方を学ぶことができます。グループの会話は韓国語です。受講の印象ですが、学生によってはレベルに合わせて英語で話してくださる

方もいるかもしれません。

・アメリカンドラマストーリーテリング

こちらを上記の授業と同じ先生の授業です。シチュエーション・コメディ（略：シットコム）を観ながら、その内容について議論するという内容です。この授業は英語で会話がスムーズにできる人でないといけないくらい、とてもレベルが高いです。先生に指摘されて答えるのは英語です。グループでの会話は韓国語なので、韓国語と英語の両方日常会話以上話せないとても難しいと思います。韓国人でも辞退されている方もいました。

・英語学概論

こちらは韓国人の先生です。日本で音声学を履修している方にとっては受けやすい授業かもしれませんが、音声学としてはとてもレベルが高いです。韓国人の学生でも難しいと評判でした。しかし、私の頃の教授がとても親切な方だったので分からないことがあっても、試験が難しくても質問しやすい環境でそこまで心配する必要はないと思います。

2 学期

・ビジネス英語

1 学期と同じネイティブの先生の授業です。TOEIC で出てくるようなビジネスメールを打つ練習ができます。グループごとに会社を振り分けられ、シチュエーションを想定しながらメールを送りあうので楽しく学べます。個人的にこの授業が一番役に立つと思いました。

・公認認証英語読解

TOEIC の授業です。韓国人の先生が教材を使って実際の TOEIC の問題で一問ずつ解説してください。そこまでレベルの高い授業ではないと思います。

・英文法

こちらも韓国人の先生の授業です。英語の文法を細かく学ぶことができます。英語における細かなニュアンスの違いを韓国語で学ぶので、韓国語に慣れてきた 2 学期に履修するのがオススメです。1 学期に履修できるのであれば、もちろん履修して損はない科目だと思います。

◆ 授業、レポート、定期試験

ネイティブの先生の授業は基本的に平常点が重要だと思います。毎週授業にきちんと参加していたら試験が少し難しくても評価していただけます。プレゼンテーションの授業はプレゼンが試験代わりで、ビジネス英語も同じくメール作成のレポートが試験となります。ストーリーテリングの授業に関しては 30 分ほどのシチュエーション・コメディ（略：シットコム）を観て、授業と同じようにテンプレートの質問に答えレポートとして提出します。韓国人の先生の授業は基本ペーパー試験で教材や先生のレジюмеから出るので、資料をよく読んでおけば対策できる内容でした。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

私は誠信グローバルフレンズという誠信女子大学のプログラムに参加していました。留学

生が言語を学びたい韓国人の学生とグループになり、お互いに母国語を教えあうという内容です。母国語や文化を共有したい方や友達を作りたい方にもオススメです。

⑧ 現地での住まい

私は誠信女子大学が所有している留学生の寮で暮らしていました。1学期は誠信女子大学に一番近い寮でした。徒歩5分程度でキャンパスまで行くことができます。比較的綺麗な寮で電子レンジとキッチンが部屋の一つあるので暮らしやすい環境だと思います。寮に食堂などはないため、自分で配達を頼むか、料理をする必要がありますが、スーパーやコンビニも近いので歩いて数分で必要なものは、一通り手に入ります。基本的に生活に困ることはありません。

⑨ 長期休暇の過ごし方

長期休暇の時は旅行に行っている友達もいました。私は2週間ほど実家に帰りました。それ以外は韓国人の友達と遊んだり、語学の勉強をしたりしていました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

留学先ではどうしても周りが就職活動の雰囲気ではなかった上、情報量が少なく何をすれば良いのか分からず不安に感じるがありますが、まずは同志社女子大学のキャリア支援課の方があげてくださる動画を視聴していました。そしてある程度、就職活動がどういうものか理解できたら、1dayのオンラインでのインターンシップに参加していました。夏季休暇のインターンシップに参加して、自己分析を進めました。本格的に活動を始めたのは帰国して年明けの1月からです。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

韓国人の友達と一緒にお酒を飲んで盛り上がり、その後友達の家でゲームをして遊んだことです。韓国に行き、学期が始まってすぐにできた韓国人の友達とこの1年間1番長く一緒にいました。そして親交も深まり、帰国する1か月ほど前にその友達の彼氏と、お姉さんと4人でお酒を飲み、そのまま皆でゲームをしたりして盛り上がりました。少し韓国語が上達した事と、親交が深まったことで言葉の壁は全く気にならなくなりました。外国語でここまで友達と盛り上げられるようになったという事が、私にとって大きな成長で記憶に残る思い出でした。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

正規授業です。先生はネイティブの方なので先生に当てられた時は英語で返さなければなりません。が、授業を受けている生徒は私以外、全員韓国人だったので、グループ会話の時は韓国語で話さなければならなかったのが一番難しかったです。さらに韓国人の中にはグループにいる韓国人と話す時と同じ速さで話す人が多かったので、話についていくのにとっても苦労しました。文法の違う英語と韓国語を交互に話そうとすると頭が混乱して言葉が

出ないことが多く、それがとても悔しく、辛かったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

そこまで驚いた記憶はありません。基本的に隣の国なので価値観や常識の範囲もほとんど同じでした。しかし、日本より圧倒的に急ぐ方が多いです。お会計をする時などもスピード感が求められて、少し急かされてしまうというのが正直な気持ちでした。後は、コンビニやお店の店員さんは、冷たい人や接客が少し適当に見える人も多いと感じました。こういう所を見ると、やはり日本の店員さんの接客はおもてなしの精神が強いのだと感じました。もちろん親切な方もたくさんいらっしゃるのですが、外国人だからと言って暮らしにくいと感じることはありませんでした。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

日本語が話せる方が国際課におられるので困った時に相談しやすかったです。大学のキャンパス内の施設も整っており、勉強がしやすい環境でした。授業の合間に仮眠をとるスペースがあり、よく利用していました。一方で、寮の先生がほとんど韓国語しか話せない方で、私たち外国人の言葉を遮られることが度々ありました。連絡事項が上手く伝わっていませんでした。悪かった点は特に無かったと思います。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須ですが、それ以外にリクルートスーツのブラウスだけは持って行きました。私は韓国で就職活動用の写真を撮ったのですが、ジャケットは貸していただけだったので必要ありませんでした。ブラウスがあればオンラインのインターンシップにも参加できるのでとても役に立ちました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学をして TOPIK の 4 級だった私が 6 級を取得できました。留学に行ったほとんどの方の語学力が大きく伸び、留学中の体験談などをネットで見たりしていたのですが、正直私はそこまで伸びるはずがないと半信半疑で行きました。しかし、留学生生活を過ごしているうちに韓国人の韓国語が徐々に聞こえるようになり、最終的に目標だった TOPIK の 6 級の取得に繋がりました。留学前と後で考え方も変わり、私はできるだけ世界で起こっていることは自分の目で見てから判断しようと心掛けるようになりました。以前と違い、イメージや偏見だけで物事を判断することをやめることを意識するようになりました。この留学を通して、精神的にも大きく成長できたと思っています。そして、留学をしてみて、改めて勉強を不自由なくさせてもらえる環境にありがたみを感じ、感謝できるようになりました。留学を応援してくれた親のためにも留学中は勉強に集中して語学力を磨くことができました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学費用、留学が可能な環境があるなら、チャンスを逃さないください。留学は語学以上に大切な物を得られる機会だと、留学をしてみて分かりました。これからの人生への価値観を広げたり、一生の友達も得られるし、日本で就職するつもりなら、恐らく人生で一度体験できるかできないか程の大きなイベントだと思います。もし少しでも留学を躊躇して悩んでいるのなら行くべきだと思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私は将来的に語学を活かした職業に就きたいと考えています。どんな形で、どんな職種であっても外国語が常に付きまとう環境にいることが私の目標です。現在は英語と韓国語を勉強していますが、その他様々な言語に触れ、マルチリンガルと胸を張って言えるように、向上心を忘れず生きようと思います。留学先で語学だけではなく本当に様々なことを学んだ一年でした。留学前と留学後で明らかに考え方が変わりました。世界で起こっていることを自分の目で確かめてみたいと思うようになりました。留学先で何に対しても毎日ワクワクしていた気持ちをいつまでも忘れずに、就職しても常に物事に興味を持てる自分でいたいと考えます。

V. 写真

語学堂のクラスメイトと一緒に景福宮（キョンボックン）に行った時の写真です。韓服（ハンbok）を着て景福宮（キョンボックン）の中を散策しました





一年間留学している間にずっと仲良くしてくれた友達と、雪がたくさん降った極寒の中、最後の思い出作りに京畿道（キョンギド）のエバーランドに行きました。



同志社女子大学で一番仲の良い友達が韓国に旅行に来た時に、韓屋村（ハノクムラ）に行きました。街並みの雰囲気が気に入り、レンズ付きフィルムの「写ルンです」で撮りました。少しレトロでおばあちゃんが歩いているところがポイントです。



渡航後、すぐにずっと行きたかった梨泰院（イテウォンクラス）の撮影地に行きました。
ドラマのシーンをそっくり撮ったものです。私が好きな俳優さんと同じ目線で写真に収めることが出来て、嬉しかったです。